

親子なわとび教室 in 大洲 事業報告書

1 事業の目的

なわとびを通して「体を動かす楽しさ」や「できた！」という達成感を味わう機会を提供し、子どもの運動意欲と自己肯定感の向上を図るとともに、親子で一緒に体を動かす時間を通して、家庭でのふれあい・コミュニケーションを深めることを目的として実施した。

2 実施日時

2026年1月12日(祝) 13:45~16:15

3 会場

大洲市総合体育館(愛媛県大洲市)

4 主催

一般社団法人愛媛県なわとび協会

6 助成・協力

公益財団法人榊山教育振興会

7 対象・参加者数

対象：未就学児・小学生の親子(大洲市内および近隣市町)

申込：親子55組

内訳：大洲市内42組(未就学児19、小学生23) / 市外13組(未就学児5、小学生8)

8 事業内容

事業では、まず開会あいさつと趣旨説明を行ったあと、世界大会出場経験のあるプロなわとびプレイヤーおよび日本代表選手による音楽に合わせたパフォーマンスを実施し、参加者の興味や意欲を高めた。続いて全員でウォーミングアップを兼ねた親子のじゃんけん遊びに取り組み、会場全体の緊張をほぐしながら体を温めた。

「はじめてのなわとびコース」(13:45~14:45)では、正しいなわの持ち方や長さの確認、前とびをたくさん跳ぶためのコツ、親子で楽しめるなわとび遊びなどの基礎的内容に取り組んだ。「チャレンジコース」(15:15~16:15)では、あやとび・交差とび・二重とびなど、小学校体育で扱う発展技への挑戦と、その習得に向けたポイント指導を行った。

終盤には親子交流タイム・ふり返りの時間を設け、その日「できるようになったこと」や「楽しかったこと」を親子で共有し、家庭での継続につながるよう声かけを行った。また、待ち時間や教室終了後には無料の「オリジナルなわとび作りブース」を設置し、参加者がグリップやロープの色を自分で選んで世界に一つだけのなわとびを作成した。完成したなわとびをその場で試す子どもも多く、今後の運動習慣づくりのきっかけとなる様子が見られた。



9 成果と課題

- 親子が同じフロアで一緒に体を動かすことにより、子どもだけでなく保護者も笑顔で汗を流す姿が多く見られた。
- 「前とびが続けて跳べた」「あやとびが初めてできた」など、小さな成功体験をその場で共有できたことで、子どもたちは達成感を味わい、自信を高めている様子であった。
- 保護者からは「運動が苦手でも参加しやすかった」「家でも一緒になわとびをしてみたい」「子どもの意外な一面が見られた」などの感想が寄せられ、家庭での親子のコミュニケーション促進にもつながった。
- プロなわとびプレイヤー・日本代表選手のパフォーマンスや直接指導は大きな刺激となり、「もっと練習してあの技に挑戦したい」という声も多く聞かれた。
- ▲ 「親子参加が条件」であったため、保護者の予定が合わず参加を見送った家庭もあり、今後は子どもだけでも参加できる枠との組み合わせなど、参加しやすい形の検討が必要である。
- ▲ 申込期間の後半に申し込みが集中したことから、広報のタイミングや回数を見直し、学校・保育所・地域団体との連携をより早い段階から進めることで、参加者の裾野を広げていきたい。



10 まとめ

本事業は、助成を受けて参加費無料で実施できたことにより、経済的な不安なく多くの親子に参加していただくことができた。なわとびを通して「できた！」という成功体験と、親子の楽しいふれあいの場を創出できたことは、地域の子どもの健やかな成長にとって大きな意義があったと考える。今回の成果と課題を踏まえ、今後も大洲市をはじめとする地域の子ども・家庭に寄り添った事業を展開していきたい。